

令和6年度第1回半田市いのち支える自殺対策推進協議会 議事録要旨

開催日時	令和6年5月16日（木）14時00分～15時30分
開催場所	半田市役所 会議室301
会議次第	1. はじめに 2. 報告事項 （1）本市の自殺に関する現状について 【資料1】 3. 協議事項 （1）半田市自殺対策計画の最終評価について 【資料2】 （2）半田市自殺対策計画の骨子（素案）について 【資料3】 （3）第2次自殺対策計画の名称について 【資料4】 （4）半田市民健康づくり推進協議会および自殺対策部会について 【資料5】 （5）第3次健康はんだ21計画及び 第2次半田市自殺対策計画（素案）の骨子について 【資料6】 4. その他
出席委員 （8名）	【会長】新海 眞（半田医師会） 柴田 直之（愛知県半田保健所次長兼企画課長）（代理） 高橋 聡（金城学院大学国際情報学部講師） 秋野 恭子（秋野労務管理事務所代表・半田商工会議所専門相談員） 加藤 昌子（さえずりの杜代表） 中根 靖幸（半田市社会福祉協議会主事） 高下 隆史（半田市教育委員会学校教育課指導主事） 竹部 益世（半田市福祉部長） ※敬称略、順不同
オブ ザーバー	中川 太志（福祉部地域福祉課主事） 邑上 祥二郎（福祉部生活援護課主査） 西原 春香（子ども未来部子育て相談課主事）
事務局	竹内 健（福祉部健康課長） 木村 智恵子（福祉部健康課副主幹） 榊原 晶子（福祉部健康課保健師） 相馬 悦代（福祉部健康課保健師） 吉田 麻紀（福祉部健康課主事）

次第	議事概要
1. はじめに	◇事務局進行 (事務局) 本日は委員9名中8名、過半数以上の出席がありますので、設置要綱第6条第2項により、会として成立することをご報告します。 それでは、ここからは設置要綱第6条第1項の規定に基づき、会長に議長をお願いしたいと思います。新海先生、よろしくお願いいたします。 (会長) 私は消化器・内科医ですので、本業ではなかなか自殺に関わるということがないですが、本日はみなさまからいろいろな意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
2. 報告事項 (1)本市の自殺に関する現状について	(会長) 報告事項(1)「半田市の自殺対策について」事務局から報告をお願いします。 (事務局) 【資料1】に基づき説明 (会長) ただいまの報告について、ご意見・ご質問等があればよろしくお願いいたします。 (委員) 図3は自殺した方の中での未遂の割合ですか。 (事務局) そのとおりです。 (委員) 平成30年頃まではいきなりの自殺が多く、それ以降は、サインを出しながらも救いの手を差し伸べられなくて自殺してしまったことが多かったということでしょうか。 (事務局) サインを見落としたというより、サインを出して保っていたけれども、亡くなってしまったと捉えたいです。サインを見逃さないことは対策としては大切と考えます。

	(会長) 図2のグラフで「その他」が多いのですが、どのような内容が含まれるかわかりますか。 (事務局) 厚生労働省の資料を元にしておりまして、それには詳細が出ておりませんので、「その他」が何かはわかりません。 (委員) 19歳以下の(その他)では、後追いなどが考えられるのではないのでしょうか。因果関係は不明ですが、著名人の事案があると、後追いと考えられるようなケースがあったと耳にしたことがあります。それが「その他」に含まれているかもしれません。 (委員) 半田市の自殺率が令和4年だけ増えてまた戻っているのは、何か原因はありますか。 (事務局) コロナの影響かもしれないと思っております。令和4年と令和5年で、理由等に大きく変化は見られませんし、令和4年に自殺が増える要因となった社会的なエピソード・トピックスは特にありません。 (委員) 半田市は若い方の自殺率が全国より高いのに対し、高齢の方は低いです。それは、半田市はげんきスポット・サロン等定年後のつながりや出会いが多く、支援が充実しているからではないかと思いました。また図2で健康問題が多いですが、健康不安が他の原因にもつながっていると思います。日頃のケアがすべての予防につながっていると思います。
3. 協議事項 (1) 半田市自殺対策計画の最終評価について	(会長) 協議事項(1)「半田市自殺対策計画の最終評価について」事務局から報告をお願いします。 (事務局、オブザーバー、委員) 【資料2】に基づき説明 (会長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等があればよろしくお願ひしま

(2) 半田市自殺対策計画の骨子（素案）について	す。 (委員) 計画の体系図のライフステージ別の取組について、男性と女性の自殺は統計的にもメカニズム的にも違うと思います。例えば、就業している女性の苦しみと男性の苦しみは違うと思います。初年度から男女別にわけると必要はないと思いますが、視野に入れた方がいいと思います。 (事務局) ご意見いただいたとおり、男性と女性では考えていることも状況も違います。今後どのように掲載するかは相談させていただきますが、男女別の視点も考えていきたいと思います。 (委員) L G B T Qの方も自殺のリスクが高いことがわかっておりますので、男女別だけでなく、L G B T Qの視点も必要だと思います。 (会長) 「くらし相談室の実績」で自殺願望があると判断された方は、その後自殺されなかったということでよろしかったでしょうか。 (オブザーバー) 他機関につなぐケースや継続的な相談に至らないケースもあり、その方々がその後どうなったかは、十分把握しておりません。 (委員) ゲートキーパーについての意見です。29歳以下の自殺が増えているということがありますが、その方々のゲートキーパーはやはりお母さんです。親世代にゲートキーパーになっていただくといいと思います。また、新入社員だけでなく、その方々を束ねている管理職や、学校の先生、親などにゲートキーパーになっていただくようにしたらいいと思います。 (会長) 協議事項(2)「半田市自殺対策計画の骨子（素案）について」事務局から報告をお願いします。 (事務局) 【資料3】に基づき説明
---------------------------------	--

(3) 第2次自殺対策計画の名称について	(会長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等があればよろしくお願いします。
	(会長) (素案) はいつまでに決まるのでしょうか。
	(事務局) 今回承認をいただければ、次回は(素案)としてつくっていきます。先程委員からいただいた、男女別の視点も考慮して考えます。
	(会長) 協議事項(3)「第2次自殺対策計画の名称について」事務局お願いします。
	(事務局) 【資料4】【参考資料】に基づき説明
	(会長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等があればよろしくお願いします。
	(委員) 半田市がどういう取組をしていくかによろしいと思います。自殺へのハイリスクに対してリスクを減らすための取組をしていくのであれば「自殺対策計画」になると思います。それだけでなく、だれが自殺したいかはわからないけれども、市全体でいのちを支えていきましょう、そのために手立てを講じていきましょう、ということであれば「いのち支える計画」にしてはどうでしょうか。
	(会長) 同意見です。「生きることへの支援」ということが前面にあつての自殺対策だと思います。
	(委員) 生もいのち、死もいのちです。人間だれしもいつかは死を迎えます。死を忌み嫌うのではなく、いろいろな死がある中で、その中の一つに自死があると考

(4) 半田市民健康づくり推進協議会および自殺対策部会について	えると「死」という字を入れることに抵抗感はありません。また「いのち支える計画」は半田市の取組にも合っていて、いいと思います。 (会長) 名称は本日決めなくてははいけないですか。 (事務局) 本日、名称を変更するということに合意いただければ、次回に名称の(案)をお出しします。 (会長) 協議事項(4)「半田市民健康づくり推進協議会および自殺対策部会について」事務局お願いします。 (事務局) 【資料5】【参考資料】に基づき説明 (会長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等があればよろしくお願いします。またほかに気になることがあればお願いします。 (委員) 資料3 半田市自殺対策計画の骨子(素案)につきまして、 「自殺対策推進協議会の実施」が(1)地域におけるネットワークの強化にあがっているが、協議会を実施することがネットワークの強化になっているのか、と思います。他にいれるところがないので、(1)にいれるのはいいと思いますが、やはり他にも具体的実施取組がほしいです。例えば、地域部会をつくって地域のリーダーが他地域と協力して情報を共有するなどです。 (委員) 突発的にそういう気持ちに見舞われる方は、社会から孤立している場合が多いです。例えば、健康診断に来てくれない人をどうやって家から出すか、を考えてみると、健康診断には来ないけど祭りには来る人もいます。昔からある仕組みや日常にゲートキーパーになっていただく方をいれていくと、今まで見つけられなかったハイリスクな人を見つけれられるかもしれません。
--	--

	(事務局) どういふ方にゲートキーパーになっていただくのが効果的なのか、出来る限り優先順位が高い方々を考えて実施していきたいと思ひます。 (委員) 若年層が相談窓口にくることはありますか。若年層はインターネットではないでしょうか。半田市としてインターネットで相談をやってみてはいいかがでしょうか。 (委員) インターネット経由は、国がやってくれてあります。例えばインターネットで「つらい」と入力するとすぐに「こころの電話」などが検索されるようになっています。全国区のところを半田市がやるのは難しいかもしれません。 (委員) 今、小中学生は一人一台端末を持っていますが、そこから直接フォームで相談できるWebクリップもつくっています。また国・県で24時間つながるチャットもあります。教員・スクールソーシャルワーカー・心理の専門家であるスクールカウンセラーの役割も重要です。「死にたい」と発言する子もいるので、その子たちのケアが大切です。 (委員) 子ども相談で、いじめられた子は隔離され、カウンセリング等手厚くケアはされます。逆にいじめた子は、何のリスクもないようにみえます。むしろいじめた子にカウンセリングが必要だと思ひます。 (委員) 現状は、いじめられている側にもカウンセリングは入りにくいです。親からするといじめられているのに「うちの子がおかしいといふのか」と認識されるケースが多いからです。いじめた側にも支援を入れたいいが入りにくく、「いじめ」にカウンセリングは入りにくい現状があります。 (委員) 事業所も同じことがいえます。パワハラされた側が、3週間休んでいいよと
--	--

(5)第3次健康はんだ21計画及び第2次半田市自殺対策計画(素案)の骨子について	言われるが、それだけ休んで出社が出来るわけがないです。資料3「半田市自殺対策計画の骨子(素案)」のライフステージ別のところで、加害者・被害者構造にコミットしていかないと、自殺はなくならないと思います。 (会長) 協議事項(5)「第3次健康はんだ21計画及び第2次半田市自殺対策計画(素案)の骨子について」事務局お願いします。 (事務局) 【資料6】に基づき説明 (会長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等があればお願いします。 (委員) 第4章のⅠの2「生活習慣の改善」の「休養、睡眠、こころの健康」と、第4章のⅡ「自死対策計画」のところは、どのような形ですみわけする予定でしょうか。 (事務局) 「休養、睡眠、こころの健康」と「自死対策計画」をどういう形ですみわけしていくのかはまだ決まっておりません。 (委員) 今の章立てだと分岐してしまっていますが、逆にむしろクロスオーバーするようにできるといいと思います。
4. その他	(会長) 全体を通じて、ご意見・ご質問等があればよろしくお願いします。 (委員) 資料3「半田市自殺対策計画の骨子(素案)」について、地域におけるネットワークの強化もゲートキーパーの養成も両方すごく大事だと思います。特に全部の中学校の全教員にゲートキーパー養成講座をしていただけるのはありがたいことです。それと、こういう協議会の場で話し合うのもとても大切だと思いますが、市民の方でこういう内容で話したい、という方がいれば話し合う場をつくれるといいな、と思います。どこにそういう場を設けるのがいいの

	か迷いますが、こういう議題で話したいという方々が参加出来る場所や仕組みがあって、地域の声を拾えればいいなと思います。 (委員) ゲートキーパーが多く養成されたら、ゲートキーパーがハイリスクな方に関わった内容を、ケーススタディとしてストックして、スタディ本にしたり記録にしたりするといいと思います。またゲートキーパー同士で「こういう相談を受けたら、こう答えたらいいんじゃないか」という話し合いを行うなどして共有できるといいと思います。 (委員) それはすごくいいと思います。他の方のケースを参照出来ると、相談を受けた瞬間にどうしたらいいだろうと思ったときにありがたいと思います。 (会長) 貴重なご意見ありがとうございます。では事務局の方より連絡事項があるということですので、お願いします。 (事務局) 相談窓口一覧表を配布しております。ぜひご活用ください。 (会長) 委員のみなさん、本日はいろいろな熱いご意見をいただき、ありがとうございました。では、事務局に戻します。 (事務局) 会長、ありがとうございました。次回は令和6年6月27日(木)を予定しておりますので、ご出席をお願いいたします。それでは、これにて、令和6年度第1回半田市いのち支える自殺対策推進協議会を終了させていただきます。本日は、ありがとうございました。
	15時30分終了